札幌市立幼稚園 預かり保育 通信 No.2

発行　札幌市教育委員会

多様で豊かな体験

一人一人の思いを大切に

家庭との連携

市立幼稚園では、子育ての支援として、就労されているご家庭やリフレッシュも含めご家族の用事等の際にご利用いただける預かり保育を行っています。教育時間だけでなく、預かり保育の時間も幼児期にふさわしい生活を通してお子様の成長を支えています。

幼稚園と共に日々の子育てを頑張っているご家庭の方に向けて、市立幼稚園預かり保育のエピソードをご紹介する「預かり保育通信（No.2）」を作成しました。今後も不定期に発行していく予定です。

お子様の姿を重ねながらお読みいただき、市立幼稚園の預かり保育について知っていただくとともに、子どもの見守りや関わりなど、子育ての参考にしていただけると幸いです。

預かり保育時間の素敵なエピソードを紹介！

異年齢の温かな関わり

３学年が集う預かり保育は、家庭的な雰囲気を大切にしています。少し難しい製作に興味をもった年少児に、年長児が優しく「こうやるといいよ！」とアドバイス。一人っ子の２人でしたが、お互いに相手を大切に思い合う特別な関係性になりました。教師や友達とゆったり過ごす中で、互いの様子がよく分かり、親しみの気持ちが育まれます。

家庭と一緒にトイトレ大成功！

トイレトレーニング真っ最中の３歳児のお子さん。預かり保育士が頑張りカードを作って励ましていることを保護者に伝えると、翌日、キラキラの頑張りカードを園に持ってきました。ママお手製のカードが嬉しくて、その後オムツを卒業。家庭と一緒にお子さんの成長を支えています。

親子の温かな時間へ

４段の跳び箱を跳べたお子さん。そのことを保護者に報告すると、「いつもお母さんが馬になって、お家で練習していたものね。」とのこと。お子さんも、「お母さん、ありがとう！」と、とびきりの笑顔。お子さんの思いを逃さず保護者に伝えることで、お迎え後にも親子の温かな時間が続きます。

子どもたちを支える職員の連携…

幼稚園の一日がスタートする朝の預かり保育。受け入れ時の保護者からの話やお子さんの様子、教育時間の保育中の遊びや友達との関わりの様子など、保育をバトンタッチする短時間、必要に応じて適宜、預かり保育士と幼稚園教諭とで伝え合っています。日々の生活の中で情報交換がすぐできる環境にあります。また、保育打合せや会議の時間を設定し、園生活で大切にしていることを共有しています。

預かり保育士の研修に取り組んでいます！

各園の預かり保育の実践や
子どもたちの様子を交流して、
保育の質の向上に努めています！

○研修内容（年２回）

- ワークシートを使って園の**預かり保育計画や実践を振り返り**、成果や課題の洗い出し
- **保育士同士の意見交流**で、取組成果の共有や課題に対する改善策の検討
- 園の通信を紹介し、家庭との連携について**効果的な発信方法の共有**

子どもたちの写真をアルバムのようにして玄関に置き、親子で見られるようにしています。

定期的にお便りを発行して預かり保育の様子を伝えて、家庭との連携を図っています。

○研修で共有した「大切なこと」

- 幼稚園教諭と預かり保育士の円滑な連携、一人一人の子どもの情報共有
- 「預かり保育」ならではの体験ができるよう園内・園外環境を生かした保育計画の立案
- 掲示物や発行物などを通じた保護者との子どもの育ちの共有
- 保育の質の向上を図るための**幼児理解や保育実践の研修機会の確保**

SAPPORO

預かり保育のエピソードは、子どもたちの笑顔、保護者の笑顔、職員の笑顔が思い浮かぶものばかりでした。笑顔があふれる時間を作り出せるように、各園での職員間の連携、預かり保育士の研修を今後も進めていきます。

さっぽろ市
02-S02-27-717
R7-2-548